

平成24年行政事業レビューシート (外務省)									
事業名	搜索救助に関する国際ワークショップ開催経費			担当部局庁	総合外交政策局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度開始			担当課室	安全保障政策課			課長 伊澤 修	
会計区分	一般会計			施策名	Ⅱ-1 国際の平和と安定に対する取組				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項イ			関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	海上における船舶間の衝突等を防止するため、ARF参加国間の信頼醸成措置を促進する必要性が高まっており、その具体的取組の1つとして、マルチの枠組で搜索救助分野における協力の事例や直面している課題を発表してもらい、地域における協力がどのような形であるべきかを議論する。その議論を通じて搜索救助に関する各国の意識を高め、能力向上をはかる。東京においてワークショップを開催するための①我が国有識者の出席経費(謝金、交通費等)、②会議開催経費(備品代、会食経費等)、③各国からの招へい経費(航空賃、滞在関係費等)を負担する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ARF参加国の政府関係者及び有識者を招き、搜索救助に関するワークショップを東京において開催する。具体的には、海外の専門家を招き、世界各地における搜索救助分野における協力の事例や直面している課題を発表してもらい、地域における協力がどのような形であるべきかを議論する。その議論を通じて搜索救助に関する各国の意識を高め、能力向上をはかる。東京においてワークショップを開催するための①我が国有識者の出席経費(謝金、交通費等)、②会議開催経費(備品代、会食経費等)、③各国からの招へい経費(航空賃、滞在関係費等)を負担する。								
実施方法	■直接実施 □委託・請負 □補助 □負担 □交付 □貸付 □その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	—	—	—	—	4		
		補正予算	—	—	—	—			
		繰越し等	—	—	—	—			
		計	—	—	—	—	4		
	執行額								
執行率(%)									
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)
	参加国数(地域における搜索救助分野における協力の活性化)			成果実績	国	—	—	—	9
				達成度	%				
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	ワークショップ開催数/年			活動実績 (当初見込み)	回	—	— ()	— ()	— (1)
単位当たり コスト	3,927(千円/1回)			算出根拠	ワークショップ開催経費(3,927千円/ワークショップ開催数(1回))				
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	ワークショップ開催経費	—	2						
	参加者接遇経費	—	2						
	計	—	4						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	我が国の安全保障の確保は、すべての国民がその便益を享受するものであり、また、国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大き場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	本件会議に要する経費は、本件会議の議題において発表を行う有識者の参加旅費や最小限の会議経費に限定されている。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	我が国の安全保障の確保は、我が国が主体的に各種フォーラムへ参加し、安全保障専門家との相互理解を促進することを通じて実効的に実現されるものである。
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本件会議の開催を通じて、ARF参加国の間で搜索救助に関する幅広い意見交換をすることで、搜索救助協力を行う上での問題点に関する認識の統一を図る上で大いに成果が期待される。		
予算監視・効率化チームの所見			
	事業について精査した結果、一部事業の縮小		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー			平成23年行政事業レビュー